



Cisco UCS E シリーズ サーバおよび Cisco UCS E シリーズ ネットワーク コン ピュート エンジンのトラブルシューティン グ ガイド

2015年5月14日

このマニュアルには、Cisco UCS E-Series Servers (E シリーズ サーバ) と Cisco UCS E シリーズ ネットワーク コンピュート エンジン (NCE) のトラブルシューティング情報が記載されています。



(注)

マニュアルは初版発行後も随時更新されますので、更新については Cisco.com で確認してください。

目次

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

- 「製品マニュアルへのリンク」(P.2)
- 「E シリーズ サーバおよび NCE のタイプ」(P.2)
- 「一般的なトラブルシューティング」(P.2)
- 「VMware ライセンスのトラブルシューティング」(P.6)
- 「Microsoft Windows のインストールのトラブルシューティング」(P.6)
- 「ホストのログインと CIMC ログインのトラブルシューティング」(P.7)
- 「バージョン情報の確認」(P.8)
- 「Cisco IOS と CIMC CLI 設定のトラブルシューティング」(P.12)
- 「LED、DIMM、ビデオ ポート、USB ポート、CD/DVD のトラブルシューティング」(P.14)
- 「KVM のトラブルシューティング」(P.17)
- 「ストレージのトラブルシューティング」(P.18)



Americas Headquarters:
Cisco Systems, Inc., 170 West Tasman Drive, San Jose, CA 95134-1706USA

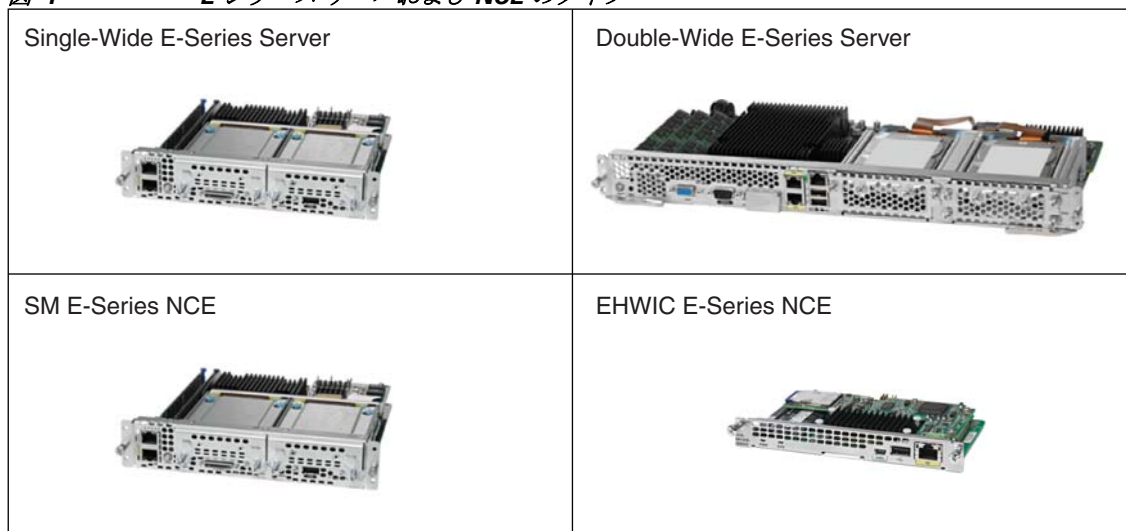
- 「SNMP のトラブルシューティング」(P.23)
- 「診断のトラブルシューティング」(P.24)
- 「テクニカル サポート データの収集」(P.24)

製品マニュアルへのリンク

すべての Cisco UCS E シリーズ サーバと Cisco UCS E シリーズ ネットワーク コンピュート エンジンのマニュアルへのリンクについては、『[Documentation Guide for Cisco UCS E-Series Servers](#)』を参照してください。

E シリーズ サーバおよび NCE のタイプ

図 1 E シリーズ サーバおよび NCE のタイプ



391749

一般的なトラブルシューティング

- 「E シリーズ サーバまたは NCE にアクセスできない」(P.3)
- 「CIMC がハングする」(P.3)
 - 「ホスト イメージをダウンロードできない」(P.4)
 - 「E シリーズ サーバの電源を投入できない」(P.4)
 - 「破損した CIMC ファームウェア イメージの回復」(P.5)
 - 「障害がある SD ドライブの回復」(P.5)
 - 「破損したファイル システムの回復」(P.5)
 - 「最新のファームウェア イメージの確認とアップグレード」(P.5)

E シリーズ サーバまたは NCE にアクセスできない

『*CLI Configuration Guide for Cisco UCS E-Series Servers and the Cisco UCS E-Series Network Compute Engine, Release 2.x*』の章「Firmware Management」の項「Troubleshooting E-Series Server or NCE Access Issues」を参照してください。

CIMC がハングする

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

- IPMI を使用して CIMC をリブートします。IPMI を使用しても問題が解決しない場合は、E シリーズ サーバの電源を再投入します。
- SD0 カード スロットに SD カードが差し込まれていることを確認します。SD0 スロット カードの SD カードには CIMC ソフトウェアが格納されているため、必ず差し込む必要があります。

図 2 に、シングル幅 E シリーズ サーバの SD0 カード スロットの場所を示します。

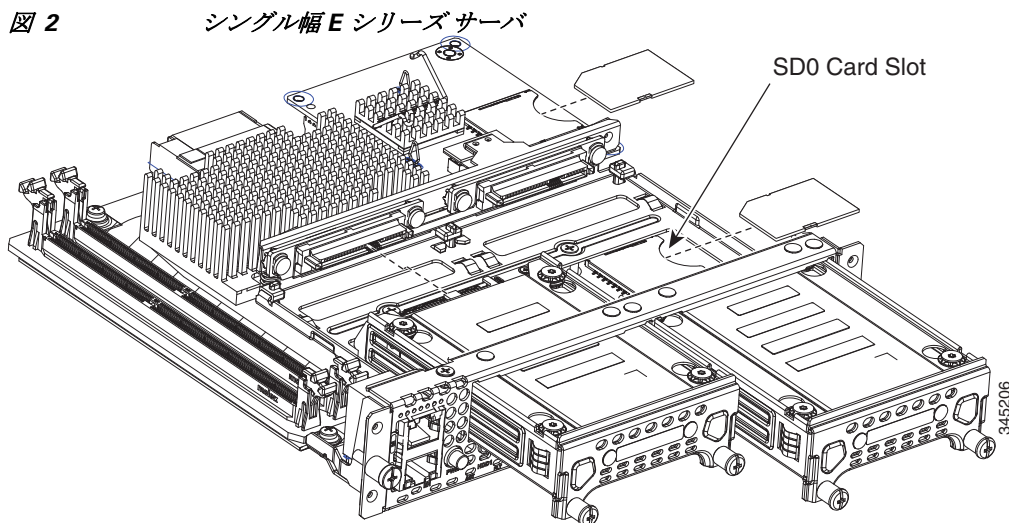
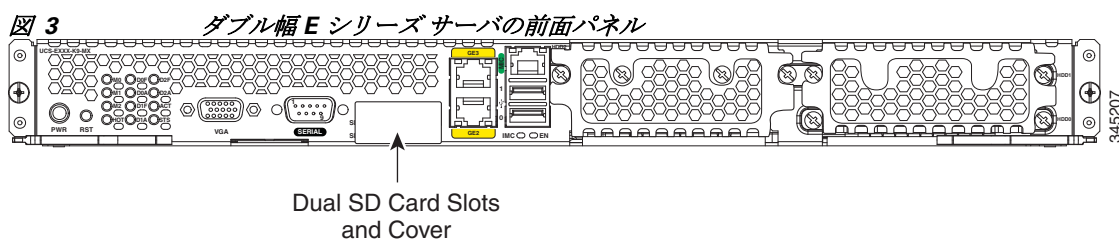


図 3 に、ダブル幅 E シリーズ サーバのデュアル SD カード スロットの場所を示します。



(注) SD0 カードは、下部の SD カード スロットにある下の方のカードです。



- E シリーズ サーバの電源をオフにして、SD カードがスロットから出てくることを確認します。出てきた場合は、SD カードを再度差し込みます。次の手順を実行します。
 - E シリーズ サーバが Cisco 3900 シリーズ ルータに設置されている場合は、**hw-module sm slot oir-stop** コマンドを使用してサーバの電源を切断し、SD カードを再度差し込んでから **hw-module sm slot oir-start** コマンドを使用してサーバを起動します。
 - E シリーズ サーバが Cisco 2900 シリーズ ルータに設置されている場合は、ルータの電源を再投入します。



(注) システムの稼働中には SD カードを取り除かないでください。

ホストイメージをダウンロードできない

この問題を解決するには、次のことを確認します。

- ホストイメージのダウンロード先とする FTP サーバが実行されていること。
- イメージファイルへの FTP サーバのパスが正確であること。

E シリーズ サーバの電源を投入できない

この問題を解決するには、以下のように CIMC GUI または CIMC CLI を使用して、サーバの BIOS CMOS メモリをクリアします。

- 「[CIMC GUI を使用した BIOS CMOS のクリア](#)」(P.4)
- 「[CIMC CLI を使用した BIOS CMOS のクリア](#)」(P.5)

CIMC GUI を使用した BIOS CMOS のクリア

はじめる前に

- admin 権限を持つユーザとして CIMC GUI にログインします。
- サーバの電源を切ります。

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
 - ステップ 2 [Server] タブの [BIOS] をクリックします。
 - ステップ 3 [Actions] 領域の [Clear BIOS CMOS] をクリックします。
 - ステップ 4 確認ウィンドウで、[OK] をクリックします。
-

CIMC CLI を使用した BIOS CMOS のクリア

手順

ステップ 1 BIOS のコマンド モードを開始します。以下の **scope bios** コマンドを使用します。

```
Server# scope bios
```

ステップ 2 BIOS CMOS メモリをクリアします。以下の **clear cmos** コマンドを使用します。

```
Server /bios # clear-cmos
This operation will clear the BIOS CMOS.
Note: Server should be in powered off state to clear CMOS.
```

ステップ 3 確認プロンプトで、**y** を入力して確認します。

```
Continue?[y|N] y
```

破損した CIMC ファームウェア イメージの回復

『[CLI Configuration Guide for Cisco UCS E-Series Servers and the Cisco UCS E-Series Network Compute Engine, Release 2.x](#)』の章「Firmware Management」の項「Troubleshooting E-Series Server or NCE Access Issues」を参照してください。

障害がある SD ドライブの回復

『[CLI Configuration Guide for Cisco UCS E-Series Servers and the Cisco UCS E-Series Network Compute Engine, Release 2.x](#)』の章「Firmware Management」の項「Troubleshooting E-Series Server or NCE Access Issues」を参照してください。

破損したファイル システムの回復

『[CLI Configuration Guide for Cisco UCS E-Series Servers and the Cisco UCS E-Series Network Compute Engine, Release 2.x](#)』の章「Firmware Management」の項「Troubleshooting E-Series Server or NCE Access Issues」を参照してください。

最新のファームウェア イメージの確認とアップグレード

最新のファームウェア イメージの確認およびアップグレードを行うには、Cisco Host Upgrade Utility を使用します。『[Host Upgrade Utility Guide for Cisco UCS E-Series Servers and the Cisco UCS E-Series Network Compute Engine](#)』を参照してください。

VMware ライセンスのトラブルシューティング

- 「VMware FL-SRE-V-HOST ライセンスを適用できない」(P.6)

VMware FL-SRE-V-HOST ライセンスを適用できない

この問題は、VMware vSphere Hypervisor™ 5.x で 32 GB を超える RAM を使用した場合に発生します。この問題を解決するには、RAM を 32 GB 以下にするか、ライセンスを FL-SRE-V-HOSTVC にアップグレードします。

Microsoft Windows のインストールのトラブルシューティング

- 「Microsoft Windows のインストール後に VMware がブートする」(P.6)
- 「Microsoft Windows のインストール時に VMware のパーティションが表示される」(P.6)

Microsoft Windows のインストール後に VMware がブートする

この問題は、先に VMware をインストールしてから Microsoft Windows をインストールした場合に発生します。この問題を解決するには、次の手順を実行します。

1. 物理ドライブの状態を JBOD に変更します。使用している CIMC のバージョンに応じた構成ガイドの項「Changing the Physical Drive State」を参照してください。
2. RAID を設定してパーティションを消去します。使用している CIMC のバージョンに応じた構成ガイドの項「Configuring RAID Using the CIMC GUI」を参照してください。

構成ガイドは以下の場所から入手できます：

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-e-series-servers/products-installation-and-configuration-guides-list.html>

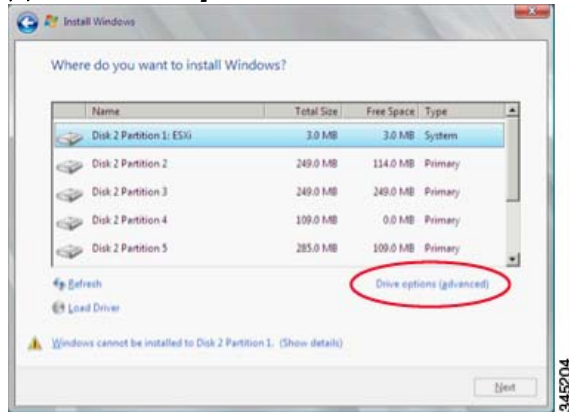
Microsoft Windows のインストール時に VMware のパーティションが表示される

Microsoft Windows のインストール時に [Where do you want to install Windows] ダイアログボックスが表示され(図 4を参照)、そこにあらかじめ VMware によって作成されたパーティションが表示されます。このダイアログボックスには次の警告メッセージも表示されます。

Warning: Windows Cannot be Installed to Disk x Partition x.

この問題を解決するには、[Drive options (advanced)] をクリックして古いパーティションを消去してから Microsoft Windows のインストールを再開します。

図 4 [Where Do You Want to Install Windows] ダイアログボックス



ホストのログインと CIMC ログインのトラブルシューティング

- 「E シリーズ サーバ(ホスト)へのセッションを接続できない」(P.7)
- 「Active Directory 認証を使用して CIMC へのセッションを接続できない」(P.8)

E シリーズ サーバ(ホスト)へのセッションを接続できない

ucse slot session host コマンドを実行しても E シリーズ サーバにログインできません。この問題を解決するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** 回線速度の値が 9600 であることを確認します。回線速度の値を確認するには、**show line** コマンドを使用します。

```
Router# show line
Tty Line Typ Tx/Rx A Modem Roty Acc0 AccI Uses Noise Overruns Int
* 0 0 CTY - - - - - 9 0 0/0 -
  1 1 AUX 9600/9600 - - - - - 0 0 0/0 -
  2 2 TTY 9600/9600 - - - - - 0 0 0/0 -
131 131 TTY 9600/9600
```

- ステップ 2** 回線速度の値が正しい場合は、ボー レートの値が 9.6K であることと、端末タイプに互換性があることを確認します。ボー レートと端末タイプを確認するには、**/bios/server-management** から **show detail** コマンドを使用します。

```
router# ucse 2 session imc
CIMC# scope bios/server-management
CIMC /bios/server-management # show detail
Set-up parameters:
Assert NMI on PERR: Disabled
Assert NMI on SERR: Disabled
Baud rate: 9.6k
Console redirection: Serial Port A
FRB2 Enable: Enabled
```



```
Flow Control: None
OS Boot Watchdog Timer: Disabled
OS Boot Watchdog Timer Policy: Do Nothing
Power Restore Policy: Power On
Terminal type: PC-ANSI
```

ステップ 3 Serial over LAN (sol) の [Enabled] オプションが [no] と設定されていることを確認します。sol の設定を確認するには、/sol から show detail コマンドを使用します。

```
CIMC# scope sol
CIMC /sol # show detail
Serial Over LAN:
  Enabled: no
  Baud Rate(bps): 9600
```

Active Directory 認証を使用して CIMC へのセッションを接続できない

この問題は、完全ドメイン名に続けてユーザ名を指定しなかった場合に発生します。この問題を解決するには、完全ドメイン名に続けてユーザ名を指定します。次に例を示します。

```
CIMC login: cert.cisco.com\adadmin
Password:
PING 172.19.159.52 (172.19.159.52): 56 data bytes
64 bytes from 172.19.159.52: seq=0 ttl=128 time=0.000 ms

--- 172.19.159.52 ping statistics ---
1 packets transmitted, 1 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 0.000/0.000/0.000 ms
```

バージョン情報の確認

- 「ルータにインストールされている Cisco IOS のバージョンの確認」(P.9)
- 「診断を通じた E シリーズ サーバの情報の確認」(P.9)
- 「E シリーズ サーバまたは NCE のハードウェア バージョンの確認」(P.9)
- 「E シリーズ サーバまたは NCE にインストールされている BIOS バージョンの確認」(P.10)
- 「E シリーズ サーバまたは NCE にインストールされている CIMC バージョンの確認」(P.11)
- 「LSI ファームウェア バージョンの確認(CIMC リリース 1.x の場合)」(P.12)
- 「LSI ファームウェア バージョンの確認(CIMC リリース 2.x の場合)」(P.12)

ルータにインストールされている Cisco IOS のバージョンの確認



(注)

- E シリーズ サーバでサポートされている Cisco IOS ソフトウェアのバージョンは、15.2(4)M 以降です。詳細については、使用している CIMC のバージョンに応じたスタートアップ ガイドの項「Verifying the Router, E-Series Server, and Cisco IOS Software Version Compatibility」を参照してください。スタートアップ ガイドは以下の場所から入手できます：
<http://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-e-series-servers/products-installation-guides-list.html>
- Cisco 2921 と 2951 シリーズ ルータでは、4 コアのみがサポートされます。

Cisco IOS のバージョンを確認するには、ルータから **show version** コマンドまたは **show inventory** コマンドを使用します。

```
Router> show version
Cisco CISCO3945-CHASSIS (revision 1.0) with C3900-SPE150/K9 with 1048576K/63488K bytes of
memory.
1 cisco UCSE Module(s)
```

```
Router> show inventory
NAME: "UCSE Server Module on Slot 4", DESCR: "UCSE Server Module"
PID: UCS-E140D-M1/K9 , VID: V00 , SN: FOC16161F5E
```

診断を通じた E シリーズ サーバの情報の確認

ルータに設置されている E シリーズ サーバのタイプと、どのスロットに設置されているのかを確認するには、ルータから **show diag** コマンドを使用します。

```
Router> show diag
Slot 4:
UCSE Double Wide Module Port adapter, 2 ports
Port adapter is analyzed
Port adapter insertion time 4d18h ago
Product (FRU) Number : UCS-E140D-M1/K9
```

E シリーズ サーバまたは NCE のハードウェア バージョンの確認

CIMC GUI または CIMC CLI から E シリーズ サーバまたは NCE のハードウェア バージョンを確認できます。

- 「CIMC GUI からの E シリーズ サーバまたは NCE のハードウェア バージョンの確認」(P.10)
- 「CIMC CLI からの E シリーズ サーバまたは NCE のハードウェア バージョンの確認」(P.10)

CIMC GUI からの E シリーズ サーバまたは NCE のハードウェアバージョンの確認

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
 - ステップ 2 [Server] タブの [Summary] をクリックします。[Server Summary] ページが表示されます。
 - ステップ 3 [Cisco Integrated Management Controller (CIMC) Information] 領域の [CPLD Version] および [Hardware Version] フィールドに、E シリーズ サーバのハードウェアバージョンが表示されます。
-

CIMC CLI からの E シリーズ サーバまたは NCE のハードウェアバージョンの確認

次のコマンドを入力します。

```
Server# scope cimc
Server/cimc # scope firmware
Server/cimc/firmware # show detail
Firmware Image Information:
  Update Stage: NONE
  Update Progress: 0%
  Current FW Version: 2.3(1.20140818121921)
  FW Image 1 Version: 2.3(1.20140818121921)
  FW Image 1 State: RUNNING ACTIVATED
  FW Image 2 Version: 2.3(1.20140818113904)
  FW Image 2 State: BACKUP INACTIVATED
  Boot-loader Version: 2.3(1.20140818121921).33
  CPLD Version: 0.62
  Hardware Version: 0
```

E シリーズ サーバまたは NCE にインストールされている BIOS バージョンの確認

CIMC GUI または CIMC CLI から E シリーズ サーバまたは NCE の BIOS バージョンを確認できます。

- 「[CIMC GUI からの E シリーズ サーバまたは NCE にインストールされている BIOS バージョンの確認](#)」(P.10)
- 「[CIMC CLI からの E シリーズ サーバまたは NCE にインストールされている BIOS バージョンの確認](#)」(P.11)

CIMC GUI からの E シリーズ サーバまたは NCE にインストールされている BIOS バージョンの確認

E シリーズ サーバの BIOS バージョンを確認するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
 - ステップ 2 [Server] タブの [BIOS] をクリックします。[BIOS] ページが表示されます。
 - ステップ 3 [BIOS Properties] 領域の [Running Version] フィールドに BIOS バージョンが表示されます。
-

CIMC CLI からの E シリーズサーバまたは NCE にインストールされている BIOS バージョンの確認

次のコマンドを入力します。

```
Server # scope bios
Server /bios # show detail
BIOS:
  BIOS Version: "UCSES.1.5.0.1 (Build Date: 13/02/14)"
  Boot Order: CDROM:Virtual-CD,HDD:RAID,EFI
  FW Update/Recovery Status: None, OK
  Active BIOS: main
```

E シリーズサーバまたは NCE にインストールされている CIMC バージョンの確認

CIMC GUI または CIMC CLI から E シリーズサーバまたは NCE にインストールされている CIMC バージョンを確認できます。

- 「[CIMC GUI からの E シリーズサーバまたは NCE にインストールされている CIMC バージョンの確認](#)」(P.11)
- 「[CIMC CLI からの E シリーズサーバまたは NCE にインストールされている CIMC バージョンの確認](#)」(P.11)

CIMC GUI からの E シリーズサーバまたは NCE にインストールされている CIMC バージョンの確認

E シリーズサーバの CIMC バージョンを確認するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Admin] タブをクリックします。
 - ステップ 2 [Admin] タブの [Firmware Management] をクリックします。[Firmware Management] ページが表示されます。
 - ステップ 3 [CIMC Firmware] 領域の [Running Version] フィールドに CIMC バージョンが表示されます。
-

CIMC CLI からの E シリーズサーバまたは NCE にインストールされている CIMC バージョンの確認

次のコマンドを入力します。

```
Server# scope cimc
Server/cimc # scope firmware
Server/cimc/firmware # show detail
Firmware Image Information:
  Update Stage: NONE
  Update Progress: 0%
  Current FW Version: 2.3(1.20140818121921)
  FW Image 1 Version: 2.3(1.20140818121921)
  FW Image 1 State: RUNNING ACTIVATED
```

```
FW Image 2 Version: 2.3(1.20140818113904)
FW Image 2 State: BACKUP INACTIVATED
Boot-loader Version: 2.3(1.20140818121921).33
CPLD Version: 0.62
Hardware Version: 0
```

LSI ファームウェアバージョンの確認(CIMC リリース 1.x の場合)

LSI ファームウェアバージョンを確認するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
 - ステップ 2 [Server] タブで [Inventor] をクリックします。[Inventory] ページが表示されます。
 - ステップ 3 [Storage] タブをクリックします。
 - ステップ 4 [Storage Adapters] 領域の、[Firmware Package Build] カラムに LSI ファームウェアの情報が表示されます。
-

LSI ファームウェアバージョンの確認(CIMC リリース 2.x の場合)



(注) この手順は、E シリーズ サーバおよび SM E シリーズ NCE に適用されます。この項は、EHWIC E シリーズ NCE には当てはまりません。

LSI ファームウェアバージョンを確認するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
 - ステップ 2 [Server] タブで [RAID] をクリックします。[Storage Cards] ページが表示されます。
 - ステップ 3 [Storage Adapters] 領域の、[Firmware Package Build] カラムに LSI ファームウェアの情報が表示されます。
-

Cisco IOS と CIMC CLI 設定のトラブルシューティング

- 「Cisco IOS の設定が CIMC に適用されない」(P.13)
- 「CIMC で最新の設定変更を表示できない」(P.13)
- 「CIMC CLI 設定の変更をコミットできない」(P.13)

Cisco IOS の設定が CIMC に適用されない

この問題は、CIMC で [Lock IOS Configuration Changes] がイネーブルになっている場合に発生します。この問題を解決するには、CIMC GUI または CIMC CLI を使用します。

- 「GUI を使用して Cisco IOS 設定への変更を CIMC に適用する」(P.13)
- 「CLI を使用して Cisco IOS 設定を CIMC に適用する」(P.13)

GUI を使用して Cisco IOS 設定への変更を CIMC に適用する

Cisco IOS 設定への変更を CIMC に適用するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
- ステップ 2 [Server] タブの [Summary] をクリックします。[Server Summary] ページが表示されます。
- ステップ 3 [Server Summary] ページから、[Lock IOS Configuration Changes] ボタンをクリックしてロックを解除します。
-

CLI を使用して Cisco IOS 設定を CIMC に適用する

Cisco IOS 設定への変更を CIMC に適用するには、`set ios-lockout unlocked` コマンドを使用します。

```
Server /chassis # set ios-lockout unlocked
Server /chassis *# commit
Server /chassis # show detail
Chassis:
  Power: off
  Power Button: unlocked
  IOS Lockout: unlocked
  Serial Number: FOC16161F5E
  Product Name: E140D
  PID : UCS-E140D-M1/K9
  UUID: 1255F7F0-0F16-0000-E5A5-05EAA6AF20B5
  Description:
```

CIMC で最新の設定変更を表示できない

この問題を解決するには、設定を変更した後で、[Refresh] をクリックします。

CIMC CLI 設定の変更をコミットできない

この問題は、次の条件下で発生します。

- CIMC に静的 IP アドレスを割り当てているときに、[DHCP] の値を [Enabled] にし、[DNS-use-DHCP] の値を [Yes] にしている場合。この問題を解決するには、値を [No] に変更してから静的 IP アドレスを割り当てます。

```
Server /cimc/network # set dns-use-dhcp no
Server /cimc/network *# set dhcp-enabled no
```

```
Server /cimc/network ## set v4-addr 192.168.100.78
Server /cimc/network ## commit
```

- 1つのスコープで設定を変更した後に、その変更内容を別のスコープからコミットしようとした場合。

同じスコープの中で行った変更をコミットするには、**commit** コマンドを使用しなければなりません。別のスコープで行った変更を **commit** コマンドを使用して送信しようとする、エラーメッセージが表示されます。この問題を解決するには、同じスコープの中で変更をやり直して再コミットします。

LED、DIMM、ビデオポート、USBポート、CD/DVDのトラブルシューティング

- 「LEDの色がオレンジで表示される(EシリーズサーバおよびSM EシリーズNCEの場合)」(P.14)
- 「DIMMが機能しない」(P.15)
- 「前面パネルのビデオポートが機能しない(EシリーズサーバおよびSM EシリーズNCEの場合)」(P.15)
- 「前面パネルのUSBポートが機能しない」(P.16)
- 「外付けのCD/DVDデバイスからブートできない」(P.16)
- 「BIOSセットアップメニューを使用したブート順の設定」(P.16)

LEDの色がオレンジで表示される(EシリーズサーバおよびSM EシリーズNCEの場合)

実行中またはサーバの起動時に、POST診断テストにより、CPU、DIMM、HDDが確認されます。何らかの障害が発生した場合は、システムイベントログ(SEL)に障害通知が送信されます。通知はSELまたは **show tech-support** コマンドの出力で確認できます。エラーが発生すると、障害の発生したコンポーネントの横にあるオレンジの診断LEDが点灯します。DIMMとHDDの問題を解決するには、EシリーズサーバまたはSM EシリーズNCEの電源を切断し、DIMMとハードドライブが正しく取り付けられていることを確認します。

手順

-
- ステップ 1 EシリーズサーバまたはSM EシリーズNCEを3900シリーズルータにインストールしている場合、サーバ電源をオフにするために、**hw-module sm slot oir stop** コマンドを使用します。それ以外の場合は、ルータの電源を切断します。
 - ステップ 2 サーバを取り外します。
 - ステップ 3 必要に応じてDIMMまたはハードドライブを再度取り付けます。
 - ステップ 4 サーバをルータに再度取り付けます。
 - ステップ 5 ルータの電源を切断していた場合は、投入します。
-

DIMMが機能しない

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

- DIMMが取り付けられていることと、各DIMMが同じ容量であることを確認します。次の手順を実行します。
 - [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
 - [Server] タブで [Inventory] をクリックします。[Inventory] ページが表示されます。
 - [Memory] タブをクリックします。[Memory Details] 領域の [Capacity] カラムを使用すると、DIMMの容量と、DIMMが取り付けられているかどうかを確認することができます。各DIMMの [Capacity] カラムの値が同じであることを確認します。
DIMMが取り付けられている場合は [Capacity] カラムに数値が表示されます。その他の場合は、[Not Installed] と表示されます。
- メモリ関連のシステム イベント ログがあるかどうかを確認します。次の手順を実行します。
 - [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
 - [Server] タブの [System Event Log] をクリックします。[System Event Log] ページが表示されます。
 - [Description] カラムで、FRU_RAM.xxx から始まるイベントを探します。
- そのサーバモデルでDIMMがサポートされているかどうかを確認します。
 - シングル幅 E シリーズ サーバ—DDR3 1333MHz VLP UDIMM 1.5 V、4 GB と 8 GB がサポートされます。
 - ダブル幅 E シリーズ サーバ—DDR3 1333 MHz RDIMM 1.35 V、4 GB、8 GB、16 GB がサポートされます。
 - ダブル幅 (PCIe 対応)—DDR3 1333 MHz RDIMM 1.35 V、4 GB、8 GB、16 GB がサポートされます。
 - EHWIC E シリーズ NCE—DDR3 1333 MHz SODIMM、4 GB、8 GB、16GB がサポートされます。
- DIMMのサーバスロットへの取り付けが正しいかどうかを確認し、正しくない場合はDIMMを取り外して再度取り付けます。

前面パネルのビデオポートが機能しない(EシリーズサーバおよびSM Eシリーズ NCEの場合)

この問題は、[Enable Local Server Video] チェックボックスがオフになっている場合に発生します。この問題を解決するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
 - ステップ 2 [Server] タブの [Remote Presence] をクリックします。
 - ステップ 3 [Remote Presence] ペインの [Virtual KVM] タブをクリックします。
 - ステップ 4 [vKVM Properties] 領域で、[Enable Local Server Video] チェックボックスをオンにします。
-

前面パネルのUSBポートが機能しない

前面パネルのUSBポートと接続しているデバイスのライトが点灯しません。この問題は、[USB BIOS Settings] でUSBポートがイネーブルになっていない場合に発生します。この問題を解決するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
 - ステップ 2 [Server] タブの [BIOS] をクリックします。
 - ステップ 3 [Actions] 領域で [Configure BIOS] をクリックします。[Configure BIOS Parameters] ダイアログボックスが表示されます。
 - ステップ 4 [Configure BIOS Parameters] ダイアログボックスで、[Advanced] タブをクリックします。
 - ステップ 5 [USB BIOS Settings] 領域が表示されるまで下方向にスクロールします。
 - ステップ 6 [USB Port 0] と [USB Port 1] がイネーブルになっているかどうかを確認します。ポートがディセーブルになっている場合は、イネーブルにします。
-

外付けのCD/DVD デバイスからブートできない

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

- CD/DVD デバイスの接続先のUSBポートがイネーブルになっているかどうかを確認します。「前面パネルのUSBポートが機能しない」(P.16)を参照してください。
- CD/DVD デバイスを使用する電流が700mAを超えていないことを確認します。700mAを超える場合は、CD/DVD デバイスの接続先USBポートが不安定になる場合があります。USBポートが機能しているかいないか、またはディセーブルになっている可能性があります。この問題を解決するには、外部から電源を供給されるUSBハブにデバイスを接続してみてください。
- [Boot Order] テーブルで、CD/DVD ROM デバイスが最初のブートデバイスとして設定されていることを確認します。この手順については、「BIOS セットアップメニューを使用したブート順の設定」(P.16)を参照してください。
- E シリーズ サーバ をリブートします。

BIOS セットアップメニューを使用したブート順の設定

サーバを外部ブート可能デバイス（Eシリーズのサーバに直接接続されたUSBや外部CDROMドライブなど）から起動する場合、この手順を使用します。CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
 - ステップ 2 [Server] タブの [Summary] をクリックします。
 - ステップ 3 [Actions] 領域で、[Launch KVM Console] をクリックします。[KVM Console] が別ウィンドウで開きます。

- ステップ 4 [Server Summary] ページで、[Power Cycle Server] をクリックしてサーバをリブートします。
- ステップ 5 プロンプトが表示されたら、ブートアップが完了する前に F2 を押して BIOS セットアップ メニューにアクセスします。[BIOS Setup] メニュー オプションを含む [Aptio Setup Utility] が表示されます。
- ステップ 6 キーボードの右または左矢印キーを使用して [Boot] タブを選択します。
- ステップ 7 [Boot Options Priority] 領域の下のページを一番下までスクロールします。次のブート オプション プライオリティが一覧表示されます。
- Floppy Drive BBS Priorities
 - Network Device BBS Priorities
 - Hard Drive BBS Priorities
 - CD/DVD ROM Drive BBS Priorities
- ステップ 8 キーボードの上または下矢印キーを使用して、該当するオプションを強調表示します。
- ステップ 9 Enter を押して、強調表示されているフィールドを選択します。
- ステップ 10 [Boot Option 1] に適切なデバイスを選択します。
- ステップ 11 F4 を押して変更を保存し、終了します。
- BIOS セットアップの [Main] タブに、[Boot Option 1] として設定したデバイスが表示されます。

KVM のトラブルシューティング

- 「vMedia をマウントできない」(P.17)
- 「vKVM を起動できない — エラー メッセージ:「Connection Failed」」(P.18)
- 「KVM が起動しない場合がある」(P.18)
- 「Broadcom FCOE の設定を起動できない」(P.18)

vMedia をマウントできない

この問題は、仮想メディアをイネーブルにしていない場合に発生することがあります。この問題を解決するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
- ステップ 2 [Server] タブの [Remote Presence] をクリックします。[Remote Presence] ページが表示されます。
- ステップ 3 [Virtual Media] タブをクリックし、[Virtual Media Properties] 領域で、[Enabled] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 4 これでも問題が解決しない場合、次の手順を実行します。
- a. [Enabled] チェックボックスをオフにしてから [Save Changes] をクリックします。
 - b. [Enabled] チェックボックスをオンにしてから [Save Changes] をクリックします。

vKVM を起動できない — エラーメッセージ:「Connection Failed」

プロキシを経由して vKVM を起動しようとする、「Connection Failed」というエラーメッセージが表示されます。この問題を解決するには、プロキシをディセーブルにします。

KVM が起動しない場合がある

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1 ブラウザを再起動してから再度試してみてください。
 - ステップ 2 インストールされている Java のバージョンが少なくとも 6.0 であることを確認します。
 - ステップ 3 問題が解決しない場合は、Java コントロールパネルから Java キャッシュをクリアします。
-

Broadcom FCOE の設定を起動できない

Ctrl+S キーを押しても Broadcom FCOE 設定が起動しない場合は、E シリーズ サーバをリブートしてから再度試してみてください。

ストレージのトラブルシューティング



(注)

RAID 機能は E シリーズ サーバおよび SM E シリーズ NCE に適用できます。RAID 機能は EHWIC E シリーズ NCE には適用されません。

- 「エラーメッセージ:「LSI OpROM: Battery Status: Not Present」」(P.19)
- 「ストレージ イベント ログの表示」(P.19)
- 「現在のブート ドライブの確認 (CIMC リリース 1.x の場合)」(P.19)
- 「現在のブート ドライブの確認 (CIMC リリース 2.x の場合)」(P.20)
- 「LSI WebBIOS Flaky でのマウスとキーボードの使用」(P.20)
- 「LSI WebBIOS を使用する状況」(P.20)
- 「show inventory コマンドの出力で、不明な xxx エラーメッセージが表示される」(P.21)
- 「RAID の動作が止まっている」(P.21)
- 「RAID を設定するために使用できるドライブがない」(P.21)
- 「RAID アレイが CIMC GUI から消える」(P.22)
- 「物理ドライブの状態が [Unconfigured Good] に変化する」(P.22)
- 「セキュア ドライブにアクセスできない」(P.22)
- 「ドライブを再設定できない」(P.23)

エラーメッセージ:「LSI OpROM: Battery Status: Not Present」

このメッセージは無視してください。

ストレージ イベント ログの表示



(注) この手順は、E シリーズ サーバおよび SME シリーズ NCE に適用されます。この手順で、EHWIC E シリーズ NCE には適用されません。

ストレージ イベント ログを表示するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Admin] タブをクリックします。
- ステップ 2 [Admin] タブの [CIMC Log] をクリックします。[CIMC Log] ページが表示されます。
- ステップ 3 [Source] カラムで、**BMC:storage** で始まるログを探します。

現在のブート ドライブの確認 (CIMC リリース 1.x の場合)



(注) この手順は、E シリーズ サーバおよび SME シリーズ NCE に適用されます。この手順で、EHWIC E シリーズ NCE には適用されません。

どのドライブがブート可能かを確認するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
- ステップ 2 [Server] タブで [Inventory] をクリックします。[Inventory] ページが表示されます。
- ステップ 3 [Storage] タブをクリックします。
- ステップ 4 [Controller Info] タブをクリックします。
- ステップ 5 [Settings] 領域の [Current Boot Drive] フィールドに現在のブート ドライブの情報が表示されます。

現在のブートドライブの確認(CIMC リリース 2.x の場合)



(注)

この手順は、E シリーズ サーバおよび SM E シリーズ NCE に適用されます。この手順で、EHWIC E シリーズ NCE には適用されません。

どのドライブがブート可能かを確認するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
 - ステップ 2 [Server] タブで [RAID] をクリックします。[Storage Card] ページが表示されます。
 - ステップ 3 [Controller Info] タブをクリックします。
 - ステップ 4 [Settings] 領域の [Current Boot Drive] フィールドに現在のブートドライブの情報が表示されます。
-

LSI WebBIOS Flaky でのマウスとキーボードの使用

これは既知の問題です。この問題に対処するには、物理的なマウスとキーボードを接続します。

LSI WebBIOS を使用する状況



(注)

この項は、E シリーズ サーバおよび SM E シリーズ NCE に適用されます。この項は、EHWIC E シリーズ NCE には当てはまりません。

次の条件では LSI WebBIOS を使用します。

- OPROM で LSI 警告メッセージが表示され、ドライブの設定が必要な場合。
- SED ドライブで RAID アレイを設定する場合。
- SED のセキュア キーとパス フレーズを変更または削除する場合。
- 外部 SED ドライブを設定する場合。
- 新しいオペレーティング システムをインストールする前に RAID 設定をクリアする場合。

show inventory コマンドの出力で、不明な xxx エラーメッセージが表示される



(注)

このエラーメッセージは、E シリーズ サーバおよび SME シリーズ NCE に適用されます。このエラーメッセージは、EHWIC E シリーズ NCE には当てはまりません。

症状: **show inventory** コマンドを入力すると、サーバが認識されずに次のエラーメッセージが表示されます。

```
Router> show inventory
NAME: "Unknown on Slot 4", DESCR: "Unknown"
PID: UCS-E140D-M1/K9 , VID: V00 , SN: FOC16161F5E
```

この問題は、サポートされていないバージョンの Cisco IOS ソフトウェアがインストールされている場合に発生します。E シリーズ サーバでサポートされている Cisco IOS ソフトウェアのバージョンは、15.2(4)M 以降です。詳細については、使用している CIMC のバージョンに応じたスタートアップガイドの項「Verifying the Router, E-Series Server, and Cisco IOS Software Version Compatibility」を参照してください。スタートアップガイドは以下の場所から入手できます：
<http://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-e-series-servers/products-installation-guides-list.html>

RAID の動作が止まっている



(注)

この項は、E シリーズ サーバおよび SME シリーズ NCE に適用されます。この項は、EHWIC E シリーズ NCE には当てはまりません。

症状: 再ビルド、再構築、整合性チェックがトリガーされた後で、RAID の動作が続行されずに 0% のままとなり、経過時間が 0 秒と表示されます。

この問題が発生するのは、RAID が適切に機能するためにホストオペレーティングシステムのメモリに依存しているためです。この問題を解決するには、オペレーティングシステムがブートしていることを確認します。ブートしていない場合は、オペレーティングシステムをブートします。

RAID を設定するために使用できるドライブがない



(注)

この項は、E シリーズ サーバおよび SME シリーズ NCE に適用されます。この項は、EHWIC E シリーズ NCE には当てはまりません。

症状: [Create to configure RAID] をクリックしたときに、[Select Drives] 領域に使用可能なドライブがありません。

この問題を解決するには、ドライブの状態が [Unconfigured Good] であることを確認します。使用している CIMC のバージョンに応じた構成ガイドの項「Changing the Physical Drive State」を参照してください。

構成ガイドは以下の場所から入手できます：

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-e-series-servers/products-installation-and-configuration-guides-list.html>

RAID アレイが CIMC GUI から消える



(注)

この項は、E シリーズ サーバおよび SM E シリーズ NCE に適用されます。この項は、EHWIC E シリーズ NCE には当てはまりません。

症状:当初はシステム内に存在していた RAID アレイが CIMC GUI に表示されません。

この問題は、ブートアップ時に 3 回同時に不正または空のパス フレーズを入力した場合に、LSI OpROM で発生する場合があります。「エラー発生時に BIOS を続行」機能のため、ブートプロセスは続行されますが、ドライブにアクセスできません。

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

1. システムをリブートしてから、正しいパス フレーズを入力します。
2. LSI WebBIOS から、新しいパス フレーズを設定するか、セキュリティを削除します。

物理ドライブの状態が [Unconfigured Good] に変化する



(注)

この項は、E シリーズ サーバおよび SM E シリーズ NCE に適用されます。この項は、EHWIC E シリーズ NCE には当てはまりません。

この問題は、ブートアップ時に 3 回同時に不正または空のパス フレーズを入力した場合に、LSI OpROM で発生する場合があります。「エラー発生時に BIOS を続行」機能のため、ブートプロセスは続行されますが、ドライブにアクセスできません。

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

1. システムをリブートしてから、正しいパス フレーズを入力します。
2. LSI WebBIOS から、新しいパス フレーズを設定するか、セキュリティを削除します。

セキュア ドライブにアクセスできない



(注)

この項は、E シリーズ サーバおよび SM E シリーズ NCE に適用されます。この項は、EHWIC E シリーズ NCE には当てはまりません。

この問題は、ブートアップ時に 3 回同時に不正または空のパス フレーズを入力した場合に、LSI OpROM で発生する場合があります。「エラー発生時に BIOS を続行」機能のため、ブートプロセスは続行されますが、ドライブにアクセスできません。

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

1. システムをリブートしてから、正しいパス フレーズを入力します。
2. LSI WebBIOS から、新しいパス フレーズを設定するか、セキュリティを削除します。

ドライブを再設定できない



(注)

この項は、E シリーズ サーバおよび SME シリーズ NCE に適用されます。この項は、EHWIC E シリーズ NCE には当てはまりません。

この問題は、ブートアップ時に 3 回同時に不正または空のパス フレーズを入力した場合に、LSI OpROM で発生する場合があります。「エラー発生時に BIOS を続行」機能のため、ブートプロセスは続行されますが、ドライブにアクセスできません。

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

1. システムをリブートしてから、正しいパス フレーズを入力します。
2. LSI WebBIOS から、新しいパス フレーズを設定するか、セキュリティを削除します。

SNMP のトラブルシューティング

- 「SNMP が応答しない」(P.23)
- 「SNMP からトラップが送信されない」(P.23)

SNMP が応答しない

この問題を解決するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Admin] タブをクリックします。
- ステップ 2 [Admin] タブの [Communication Services] をクリックします。[Communication Services] ページが表示されます。
- ステップ 3 [SNMP] タブをクリックします。
- ステップ 4 [SNMP Properties] 領域で、[SNMP Enabled] チェックボックスがオンになっていることを確認します。

SNMP からトラップが送信されない

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 SNMP がイネーブルになっていることを確認します。「SNMP が応答しない」(P.23) を参照してください。
- ステップ 2 SNMP トラップ設定の実行 使用している CIMC のバージョンに応じた構成ガイドの項「Configuring SNMP Trap Settings」を参照してください。構成ガイドは以下の場所から入手できます：
<http://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-e-series-servers/products-installation-and-configuration-guides-list.html>

診断のトラブルシューティング

- 「診断テストの実行」(P.24)
- 「show diag コマンドを実行すると、不明なポートアダプタ エラー メッセージが表示される」(P.24)

診断テストの実行

使用している CIMC のバージョンに応じた構成ガイドの項「Diagnostic Tests」を参照してください。構成ガイドは以下の場所から入手できます：

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-e-series-servers/products-installation-and-configuration-guides-list.html>

show diag コマンドを実行すると、不明なポート アダプタ エラーメッセージが表示される

症状: **show diag** コマンドを入力すると、サーバが認識されずに次のエラー メッセージが表示されます。

```
Router> show diag
Unknown (type 1889) Port adapter
Port adapter is disabled
Product (FRU) Number      : UCS-E140D-M1/K9
```

この問題は、サポートされていないバージョンの Cisco IOS ソフトウェアがインストールされている場合に発生します。E シリーズ サーバでサポートされている Cisco IOS ソフトウェアのバージョンは、15.2(4)M 以降です。詳細については、使用している CIMC のバージョンに応じたスタートアップ ガイドの項「Verifying the Router, E-Series Server, and Cisco IOS Software Version Compatibility」を参照してください。スタートアップ ガイドは以下の場所から入手できます：

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-e-series-servers/products-installation-guides-list.html>

テクニカル サポート データの収集

CIMC GUI または CIMC CLI を使用すると、テクニカル サポート データを収集できます。このタスクは、Cisco Technical Assistance Center (TAC) から要求された場合に実行します。このユーティリティは、TAC が技術上の問題をトラブルシューティングおよび解決する際に役立つ設定情報、ログ、および診断データが含まれる要約レポートを作成します。

- 「CIMC GUI を使用したテクニカル サポート データの収集」(P.25)
- 「CIMC CLI を使用したテクニカル サポート データの収集」(P.25)

CIMC GUI を使用したテクニカル サポート データの収集

テクニカル サポート データを収集するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Admin] タブをクリックします。
- ステップ 2 [Admin] タブの [Utilities] をクリックします。
- ステップ 3 [Utilities] ペインの [Actions] エリアで [Export Technical Support Data] をクリックします。
- ステップ 4 [Export Technical Support Data] ダイアログボックスで、必要に応じて [Export to a local file] または [Export to TFTP server] オプション ボタンをクリックします。
- ステップ 5 [Export] をクリックします。



(注) テクニカル サポート データの収集には最低 3 分かかります。

- ステップ 6 生成されたレポート ファイルを Cisco TAC に提供します。

CIMC CLI を使用したテクニカル サポート データの収集

CIMC CLI から、次のコマンドを入力します。

```
Server# scope cimc
Server /cimc # scope tech-support
Server /cimc/tech-support # set tftp-ip tftp_server_ip_address
Server /cimc/tech-support *# set path /user/user1/supportfile
Server /cimc/tech-support *# commit
Server /cimc/tech-support # start
Server /cimc/tech-support # show detail
```

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2012 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

